

機械科

MECHANICAL ENGINEERING



定員40名



※この写真は、合成により火花を散らしており、溶接面を使用せずに溶接を行っている写真ではありません。

1年次の学び

金属を削る旋盤作業をはじめ、溶接、手仕上げといった、金属加工の基礎基本を学びます。
パソコン操作や、ノギス、マイクロメーターなどを使用した部品測定の方法も習います。



2年次の学び

旋盤の課題もより高度になってきます。アルミニウムを溶かして鑄造にもチャレンジ！フライス盤やシーケンス制御、アーク溶接の実習も行います。沢山のものづくりの手法を習得できます。



「3代目イノシカハンターズ」スマート箱罠で害獣駆除

常に新しいことにチャレンジするのが水高機械科。これまでに培ってきた箱罠製作のノウハウを活かし、自作した箱罠に、振動センサーと発信器を取り付け、動作状況がスマホでチェックできるように改良！高校生で狩猟免許も取得し、狩りにも同行します。令和3年度は、これまでの取り組みを様々なかたちで発表する機会がありました。熊本県工業高等学校生徒研究発表会では、東海大学基盤工学部長賞を獲得！また、イノシカハンターズの取組が、各地域の企業・団体・学校で行われている「地域振興」や「技能者育成(人材育成)」などに役立つ特色ある取組として厚生労働省より「地域発！いいもの」として認定されました！



3年次の学び

機械科は課題研究の多様さが魅力です！イノシシ用の箱罠や真空砲、水中ロボット、アイデアロボットなどやりがいと楽しさのバランスが絶妙です。実習では材料試験や鍛造、特殊機械・原動機について学びます。



悲願の水中ロボコン 日本一

沢山のコンテストに積極的に出場する機械科。3年前からチャレンジし続けていた水中ロボコンですが、令和2年度は惜しくも準優勝……。その悔しさをバネに、令和3年度は、新たに導入した3Dプリンターを駆使して製作したマシンでチャレンジ！見事、水中ロボットコンベンション in JAMSTEC2021のジュニア部門で悲願の優勝を勝ち取りました。



山下さんの一日



こだわりPOINT

早起きをして、一日のリズムを整えることが習慣になり、時間を効率良く使うことを意識できるようになりました。ハンドボール部で体育館をを使うのが週3日なので、他の日は自主トレーニングや検定勉強に当てています。

水俣高校の♡なところ

機械科は、チャレンジできる資格が多くてやりがいがあります。また、クラスも活気があって楽しく学べますし、クラスマッチなどのクラスで参加するイベントでは、とても盛り上がります。地元の高校なので、時間も有効に使えますし、また、知り合いも多くて先輩や友人に色々なことが聞けるので、学校生活への不安はありません。総合高校なので、幅広く学べて視野も広がりますよ。

＜山下さん＞

- ハンドボール部
- 生徒会副会長
- 目標：地元企業に就職して

社会貢献したい

進路(新校開校からの主な実績)

●進学

宇都宮大、佐賀大、山口東京理科大、崇城大、東海大、千葉工業大、大阪産業大、清水海上技術短期大学校、九州工科自動車専門学校 など

●就職

JNC、河村電器産業、摂津工業、ヤマハ熊本プロダクツ、YKKAP、本田技研工業、トヨタ自動車九州、日本製鉄トヨタ自動車、デンソー、日産自動車、京セラ、マツダ、国家公務員、水俣市北消防、自衛隊一般曹候補生、自衛官候補生 など

目指す資格

●技能検定

機械検査・機械加工(普通旋盤)

●危険物取扱者(乙種・甲種)

●計算技術検定 ●機械製図検定

●情報技術検定

●リスニング英語検定 など



機械科2年の吉井さんは、令和3年度の計算技術検定で、一級全種目満点合格を達成して特別表彰をいただきました。笑顔も満点です。